

○事業所名	大分こども発達支援センターつばさ学園		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～ 令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 9日		～ 令和6年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が多く子どもたちが活動や状況により使う部屋がたくさん準備されていること。 ・運動遊びが十分行える室内環境、感覚遊びを思いっきり楽しめる園庭や砂場、泥山など、子どもたちが自然の中で季節を感じることでできる場所が整っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの情緒面等により、個室で使用する部屋の設定をしたり、スヌーズレンのように使用したりしている。 ・感覚遊びや全身運動を十分に行えるよう、それぞれの場所を構造的にしている。道具などを使い遊びが広がるように支援者が意識して環境設定を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で部屋を使用する時に対象となる子どもや他の子どもにも分かりやすいように知らせられるよう工夫していく。 ・感覚遊びや全身運動を使った遊びが小集団での活動になるよう、ごっこ遊びや簡単なゲームを取り入れ社会性やコミュニケーション面にも繋げていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用している子どもたちに手厚く一人一人のペースに寄り添って支援できる人員体制を構築している。 ・発達段階や年齢に合わせて小集団で活動しやすいよう、クラス設定を取り入れている。 ・子どもに対する支援を共通して行えるよう、支援者間で朝礼終礼を必ず行い情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々子どもさんの状態に合わせて、必要であれば個別対応を行い支援するようにしている。 ・子どもたちの発達に合わせて必要に応じて、クラス変更を行いコミュニケーション面や対人面を伸ばせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんのタイプに寄らず、どの支援者でも、子どもさんのペースに合わせられる支援者を増やしていく。 ・引き続き、子どもさんの発達に合わせてクラス変更を行っていく、クラス同士で活動や集団遊びを行う活動時間なども設定し、集団活動の練習を取り入れていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・併設している療育センターの機能訓練士とカンファレンスを行い、子どもさんの状態や支援方法の共有をしている。 ・併設しているキッドワールドセカンドこども園と併行通園をしている子どもさんの情報共有をその時々で必要に応じてお迎え時に話し合ったりすることができている。レスパイトが必要なケースなど、状況に応じて個別相談を行い対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の機能訓練士と定期的に情報共有が出来るよう、カンファレンス以外にも共有する時間を設けるようにしている。 ・併行通園している子どもたちが安心して利用開始できるように利用開始前や初回利用時などは特に注意し、キッドワールドセカンドこども園と子どもさんについての情報共有を行い利用前調整を行うように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の機能訓練士と保護者の方を含めたケース会議が出来るようニーズや課題、家庭での困りなど保護者支援にも繋がる為、多職種への参加を促していく。 ・併行通園が開始されると情報共有を定期的に実施することが少なくなる為、日々の様子も含めたケース会議を実施することで支援内容の共有に繋げていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化により、壁紙が汚れ破れている箇所がある。 ・廊下側から子ども用トイレが丸見えになってしまっている。 ・出入り口や居室のドアの施錠が出来にくい時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・築20年以上経っているため、壁紙の汚れなど仕方がない部分はある。 ・トイレは安全面も考慮した上で、見通しがよくなるよう設計されたのではないかと。 ・施錠口が内側と外側にあり、業者曰く、外部からの砂などが入ってしまうことが大きな要因ではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙や壁の汚れに関しては、利用児童の療育に支障のない範囲で張替えを行っていく。 ・トイレ自体の改築は難しい為、プライバシーに配慮した形でロールカーテンを使用するなど対策をしていく。 ・施錠口の取り換えも検討しつつ、潤滑剤などを用いて使用できるようにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の勤務職員数が多く、勤務形態が違うため、情報の共有をしにくい場合がある。 ・虐待防止の研修や感染症に関する研修など、全体で行うものであっても勤務上、全員が揃わないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置されている職員の勤務が雇用形態により変わる為、週3日程度の勤務だと常勤との間でタイムラグが生じることが要因。 ・雇用形態や勤務日数に制限があり、職員本人の都合等も含め、全職員が揃うことが難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎノートや子どもさんの様子を時間経過で記録するなどの対策を講じる。 ・出勤した時はクラス内で、子どもさんの情報共有をできる時間を設ける。 ・全体必須の研修などは、前もって事前予告を行っていく、又、どうしても参加が難しい場合は、書面や動画視聴による復命研修も行っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先であるキッドワールドこども園やキッドワールドセカンドこども園の先生方としっかり時間を設けてケース会議を設定して行うことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園の先生方は常に子どもさんがいるため、両方の時間をすり合わせる事が難しく、そこが課題となっているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんがいる時間が双方に異なる為、2か月前から日時調整を行い実施を検討していく。又、時間も1時間など具体的に決め、内容についても脱線しないよう、具体的に話す内容を事前にお伝えするように進めていく。

事業所名 大分こども発達支援センターつばさ学園

公表日 令和7年 3月 1日

利用児童数

35/42

回収数

83%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1		3	・教室での様子を見たことがない。	・月に1度、公開日を設定していますので、ご参加をお待ちしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	4			・キレイですが、トイレが古いので子どもが怖がるかなと思いました。	・LEDへ変更し、トイレ全体を明るくしています。便座も子ども用に適宜、交換をしていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1			・集団行動の練習がもう少しできたらなと思います。(年齢が上がってからのかな?) ・こどもへの声かけや母子分離の方法など、子どものことを考え支援していただけてありがたいです。	・集団活動は、子どもさんの発達状況を踏まえてクラス設定で実施するようにしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35				・個別性のある計画に助かっています。	・今後も子どもさんの発達段階に合わせた支援が行えるようにしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		4		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	7	11	6	・地域のイベントとつばさのイベントが重なる事があるので、つばさの方を優先させています。	・いつもご参加いただきありがとうございます。出来る限り、地域行事と重ならないよう調整していきたいと思っています。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	1			・参加した、又行ってほしい。	・年に数回、実施していますので、保護者の方対象に案内をさせていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32	3			・何でも相談しやすい雰囲気でありたいです。	・いつもありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	6	4	5		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		4	・まだ活用していないため	・個別相談については、随時ご相談ください。相談会とは別に面談日を設定させていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 写真、楽しみにしています。 月毎の区切り（イベント）があると見易くなると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月に掲載出来るよう、対応していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1		5	<ul style="list-style-type: none"> 全部は知らなかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方に時間をかけて説明する機会を設定していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	2		5	<ul style="list-style-type: none"> 事故等が発生したことがないのでわかりませんが、緊急時の対応については説明いただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> いつもありがとうございます。緊急時はマニュアル、フローに沿って対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35				<ul style="list-style-type: none"> いつもお世話になりありがとうございます。親子共々、つばさ学園に行くのを楽しみにしています。対応が大変な子だと思いますが先生方がいつも丁寧に接して下さるので、家族一同先生方が大好きです。これからはどうぞよろしくお願い致します。 子ども私も毎日楽しく通園しています。いつもありがとうございます！ 毎日楽しそうにしています。 「つばさに行こう！」と言います。毎日、楽しみにしていると思います。 とても満足しています。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	2	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	35					

事業所名	大分こども発達支援センターつばさ学園				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	2	・クラスの広さやプレイルームなど活動に応じて使用する部屋が多く、子どもたちが活動しやすい広さを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	3	・法令上の職員配置より人員を多く配置している。 ・子どもさんの状態に合わせて個別対応できる配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21		・子どもさんに分かりやすい自分の部屋や、おもちゃの部屋、運動するへやなど構造的に部屋を分けている。	・外部からや研修などで使用する会議室がバリアフリー対応となっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	4	・子どもさんが利用した後は、毎日清掃を実施している。又、季節により加湿器などを使用し心地よく過ごせるように環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	4	・子どもさんの心身の状態や体調により、個室を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	3	・支援を行う前、支援を行った後と、評価と振り返りを各設定クラスの中で実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	1	・自己評価や、福祉サービス相談委員会の中での意見は職員間で共有し、保護者のニーズに沿っていけるよう調整を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	2	・職員面談を実施する期間を設けており、その際上がった意見は他職員の意見と擦り合わせて協議し、働きやすい職場環境につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	1	・第三者委員の先生が評価を実施している。評価結果は職員間で共有し、実施できる内容より取組をしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	1	・発達に関する研修会や養成研修等は業務命令や自己研鑽で参加を促している。資質が向上するよう現場で調整を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21			・支援プログラムを作成はしているが、公表はしていないため、公表時期等を検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21		・初回のアセスメントからニーズや発達課題を分析し、児童発達支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	1	・児童発達支援管理責任者が作成した計画書を基に現場職員と子どもさんの発達段階や特性を考慮した計画になっているかと検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21		・児童発達支援管理責任者が作成した計画書の本案を現場内で共有し計画に基づく支援を行うよう活動内容や注意点を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	1		・具体的なツールなどは使用していないため、今後はアセスメントツールの使用を検討していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21		・保護者のニーズ、子どもさんの発達段階、家族環境などを含め、地域移行を行うまでに必要な支援内容や項目を記入している。又、具体的な支援については、シンプルに記入し、保護者説明時に丁寧に場面などを用いて説明するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	1	・毎日の活動は、現場職員間で立案しながら実行している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	3	・変化が苦手な子どもさんが多いため、急な活動内容の変更や時間設定は変更しないようにしている。	・事前予告も含めて、見通しが持てやすいように、子どもさんに知らせながら活動の幅を広げていけるようにする。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21		・子どもさんが安定して通えるよう、発達段階に合わせて児童発達支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	3	・全体朝礼、部署別朝礼、クラス別朝礼を毎朝行い、それぞれの支援に対する役割を分担している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	2	・子どもさんが帰宅後は、クラス職員間で毎日振り返りを行っている。子どもさんの様子や気になったことなど、次回に引き継げるよう、記録も同時に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21		子どもさんの記録用ファイルの中に児童発達支援計画書をファイリングし、支援の検証がしやすいように日々の記録の横に欄を設け自由記載ができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21		・保護者研修会や、療育公開日などを通し普段会えない保護者の方にもモニタリングを実施している。保護者のニーズを確認した上で見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21		・サービス担当者会議やケース会議など、関係機関が集まる会議に関しては、児童発達支援管理責任者とクラス担任が同席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	1	・併設している大分子ども療育センターやキッドワールドセカンド子ども園とは連携して支援を行うようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21		・移行に向けた支援としては、児童発達支援計画に記載をしている。 ・併行通園をしている子どもさんについては、送迎時など情報共有を行っている。又、月に一度、定例会を実施しており、その中で情報共有する時間を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21		・必要に応じて、書面や電話などで情報共有をしている。又、先方の都合が良ければ、生活場面を見学に来てもらい、支援内容や課題を共有する時間をも受けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	21		・大分県児童発達支援協議会の中で地域の児童発達支援センターを職員と研修会を実施している。	・地域の通所支援事業所との連携は事業所の数、事業開始から事業停止までを把握出来ていない。今後は、中核機能を持つセンターと連携を実施していきたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21		・大分県発達障がい者支援専門員養成研修や保育コーディネーター養成研修などの専門研修から、接遇マネージャー、アンガーマネジメントと積極的に参加を促している。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	20	1	・自立支援協議会子ども部会のメンバーとして参画している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	13		・地域の園と併行通園を実施している子どもさんはいませんが、交流という形で活動する機会がないため、今後は調整をしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21		・毎日の様子など連絡帳を使い保護者とやりとりを行っている。又、公開日に集団活動の様子を見てもらい今後の課題について共有をしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21		・県の委託事業として、ペアレント・プログラムを実施している。保護者へ案内をし、希望者には参加を促している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21		・入園する前の契約時に保護者と面談をする時間を設定して個々に説明をしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21		・児童発達支援管理責任者が保護者の方から直接ニーズを確認し、子どもさんの発達を確認しながら、保護者の方と課題や目標を確認している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21		・児童発達支援計画を説明する際は、個別で説明する時間を設けて丁寧に説明するよう心がけている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21		・日々の連絡帳へ記載してもらったり、親子通園時に相談された内容については、助言を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	1	・昨今の個人情報に対する配慮もあるため、保護者会運営は園が担っている。保護者同士が研修できる会を年6回程度実施している。	・きょうだい同士の交流は行っていないため、保護者へ希望の有無を確認しながら必要に応じて機会を作りたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21		・保護者からの相談については、担当がその都度個別面談を実施している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21		・毎月、園だよりを発行し、行事や来客予定、クラスの活動などを知らせている。 ・HPでは、月ごとの様子や行事の写真を掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21		・個人情報については、データ上で管理をし、USBなどを使用しないようにしている。又、外部に持ち出さないといけない場合は、「持ち出し簿」にチェックを入れ、帰園後も確認をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	1	・その方々によって、必要であれば筆談や内容を簡潔にシンプルに伝えるなど配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	2		・行事の実施はしているが、地域住民を招いていないため、地域の方と共にできる内容を検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21		・各マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。マニュアルとフローチャートを用いて、一連の連絡体制や役割が明確化するようにしている。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21			・BCP策定は行っているが、救出訓練などは行っていないため今後は計画をたてて訓練実施に向けて取り組んでいく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21		・契約前のアセスメント時に既往歴、服薬の確認をしている。・毎年4月に健康診断シートを配布し保護者へ提出をお願いしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21		・食物アレルギーがある子どもさんについては、管理栄養士同席の下、医師の意見書を基に除去食の説明同意を得ている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21		・安全計画を作成し、年間計画や研修などを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21			・安全計画に関する具体的な説明は年度初めに全体へ説明するように計画的に実行する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	1		・ヒヤリハットの作成、職員間での共有は行っているが、再発防止に関して、全体で方策を検討していけるようにしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21		・虐待防止研修（外部）には必ず1名が参加し、全体へ復命研修を実施するようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	1	・身体拘束を行う場合は、事前にシートへ記入し保護者説明を行うようにしている。	